

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 JQ

上場会社名 日本精密株式会社

コード番号 7771 URL <http://www.nihon-s.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡林 博

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 田崎 政己

TEL 048-225-5311

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	3,089	20.9	99		92		89	
21年3月期第3四半期	3,905	43.2	134		132		68	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	6.89	
21年3月期第3四半期	6.57	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	2,540	1,039	40.3	67.29
21年3月期	2,700	934	34.1	75.69

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 1,024百万円 21年3月期 919百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		0.00		0.00	0.00
22年3月期		0.00			
22年3月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,475	10.6	37	73.9	10	93.3	11	73.4	0.91

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

除外 1社(株式会社アルマック)

(注) 詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無

以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	15,423,999株	21年3月期	12,352,571株
-------------------	-------------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数	22年3月期第3四半期	201,749株	21年3月期	200,892株
---------	-------------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	12,920,910株	21年3月期第3四半期	10,414,599株
--------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、急速に悪化した景気の一部に底入れの兆しは見えるものの、厳しい雇用情勢、設備投資の低迷、急激な為替変動、慢性的なデフレ状態など依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは経営目標達成に向け売上の増加と利益の増大に注力してまいりましたが、消費低迷による売上減少の影響は避けられず、結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は3,089,465千円（前年同期は3,905,206千円）、売上総利益は748,542千円（前年同期は1,092,041千円）、営業損失は99,319千円（前年同期は営業利益134,912千円）、経常損失は92,200千円（前年同期は経常利益132,705千円）、四半期純損失は89,018千円（前年同期は四半期純利益68,449千円）となりました。

各事業のセグメント別の売上高は次のとおりです。

時計バンド事業は1,729,995千円となり、前年同期比763,570千円減少しました。そのうち、スイスの高級時計メーカーへの売上は、ヨーロッパの景気後退に伴い、著しい減少があり770,538千円の減少となりました。国内大手メーカーからは、当社、ベトナム子会社及び中国の提携先との密接な協力に基づく開発提案力、コスト競争力、生産力、品質管理力等の総合力を評価され、香港支店でのG-Shock、MT-G、Baby-G、G-msモデル等の金属バンド及び金属樹脂コンポバンドの受注増加があり、57,267千円の増加となりました。メガネフレーム事業は1,087,912千円となり、前年同期比36,421千円減少しました。国内の新規取引先の開拓を行ったものの、国内、ヨーロッパともに眼鏡市場の消費冷え込みの影響を受けました。その他事業は271,557千円となり、前年同期比15,747千円減少しました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,540,449千円となり、前連結会計年度末と比べ160,198千円減少しました。このうち、流動資産は、1,680,399千円となり、55,256千円減少しました。これは主に売上債権の増加95,541千円、商品及び製品の減少61,130千円、仕掛品の減少86,831千円、原材料及び貯蔵品の減少15,372千円などによるものです。固定資産は、860,050千円となり、104,942千円減少しました。これは主に、仕入先からの差入保証金の返金などによる敷金及び保証金の減少103,894千円、固定資産の減価償却による減少86,683千円、有形・無形固定資産の取得などによる増加65,079千円、韓国の合弁会社設立などによる投資有価証券の増加14,933千円などによるものです。

負債合計は1,501,198千円となり、264,700千円減少しました。流動負債は1,292,303千円となり、253,764千円減少しました。これは主に仕入債務の増加47,420千円、短期借入金の減少183,950千円、1年内償還予定の社債60,000千円の減少などによるものです。固定負債は208,895千円となり、10,935千円減少しました。これは主に、社債の償還による減少40,000千円、転換社債型新株予約権付社債の転換による減少40,000千円、長期借入金の増加75,049千円などによるものです。

純資産は1,039,250千円となり、104,501千円増加しました。これは主に資本金の増加94,999千円、資本剰余金の増加95,000千円、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少89,018千円などによるものです。

## キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下資金という）は、前連結会計年度末と比較して、10,618千円減少し345,933千円となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は141,367千円となりました。減価償却費86,683千円の計上、たな卸資産の減少163,334千円、仕入債務47,420千円の増加、また仕入先からの差入保証金の返金などによる敷金及び保証金の減少103,894千円などがありました。一方、税金等調整前四半期純損失84,052千円（前連結累計期間は税金等調整前四半期純利益74,502千円）の計上、売上債権の増加95,541千円などがありました。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は66,127千円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出65,079千円、投資有価証券の取得による支出11,578千円などによるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は94,905千円となりました。当第3四半期累計期間において、長期借入により113,593千円、株式の発行により150,000千円をそれぞれ調達する一方、短期借入金の減少と長期借入金の返済が合わせて251,831千円、社債100,000千円を償還しました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の通期業績予想につきましては、概ね計画通りに推移したため平成21年10月30日付にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

連結子会社でありました株式会社アルマックは、当第3四半期連結会計期間において精算終了したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

原価差異の配賦方法

標準原価を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に実施する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(追加情報)

退職給付引当金について

当社は、確定拠出年金法の施行に伴い、平成21年5月に退職給付制度の一部について確定拠出年金制度へ移行し、「退職給付制度間の移行に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号）を適用しております。

なお、これによる損益への影響は軽微であります。

## 5.【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	353,033	361,552
受取手形及び売掛金	602,823	507,281
商品及び製品	179,266	240,397
仕掛品	288,282	375,114
原材料及び貯蔵品	179,121	194,494
立替金	48,874	27,131
その他	35,652	35,992
貸倒引当金	6,655	6,308
流動資産合計	1,680,399	1,735,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	214,982	218,512
機械装置及び運搬具(純額)	223,460	242,636
工具、器具及び備品(純額)	39,505	43,955
土地	123,614	123,614
建設仮勘定	630	-
有形固定資産合計	602,192	628,719
無形固定資産		
借地権	169,910	173,924
その他	14,481	3,163
無形固定資産合計	184,392	177,087
投資その他の資産		
投資有価証券	46,817	31,883
敷金及び保証金	21,924	125,819
その他	33,276	33,762
貸倒引当金	28,553	32,278
投資その他の資産合計	73,465	159,185
固定資産合計	860,050	964,992
資産合計	2,540,449	2,700,648

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	521,002	473,582
短期借入金	530,472	714,423
1年内償還予定の社債	40,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	54,229	83,236
賞与引当金	6,182	16,994
未払法人税等	7,355	10,077
その他	133,060	147,755
流動負債合計	1,292,303	1,546,068
固定負債		
社債	-	40,000
転換社債型新株予約権付社債	-	40,000
長期借入金	118,472	43,423
繰延税金負債	25	233
退職給付引当金	83,391	82,251
その他	7,005	13,922
固定負債合計	208,895	219,830
負債合計	1,501,198	1,765,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,565,875	1,470,875
資本剰余金	1,548,980	1,453,980
利益剰余金	2,046,679	1,957,660
自己株式	40,212	40,169
株主資本合計	1,027,963	927,026
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,713	7,276
評価・換算差額等合計	3,713	7,276
新株予約権	15,000	15,000
純資産合計	1,039,250	934,749
負債純資産合計	2,540,449	2,700,648

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	3,905,206	3,089,465
売上原価	2,813,164	2,340,923
売上総利益	1,092,041	748,542
販売費及び一般管理費	957,129	847,861
営業利益又は営業損失( )	134,912	99,319
営業外収益		
受取利息	2,342	143
受取配当金	2,676	2,279
為替差益	-	10,146
金利スワップ評価益	8,769	-
助成金収入	-	5,214
還付消費税等	6,976	-
その他	10,530	6,180
営業外収益合計	31,296	23,963
営業外費用		
支払利息	31,243	14,799
為替差損	706	-
その他	1,552	2,044
営業外費用合計	33,503	16,844
経常利益又は経常損失( )	132,705	92,200
特別利益		
貸倒引当金戻入額	16,119	4,588
前期損益修正益	11,960	13,463
固定資産売却益	-	8,337
特別利益合計	28,079	26,389
特別損失		
遅延損害金	-	14,035
固定資産除却損	141	397
減損損失	83,043	-
アスベスト除去費用	-	3,809
貸倒引当金繰入額	3,024	-
その他	74	-
特別損失合計	86,283	18,242
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	74,502	84,052
法人税、住民税及び事業税	6,052	4,966
法人税等合計	6,052	4,966
四半期純利益又は四半期純損失( )	68,449	89,018

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	1,278,401	1,098,796
売上原価	890,834	838,795
売上総利益	387,566	260,000
販売費及び一般管理費	309,062	276,097
営業利益又は営業損失( )	78,503	16,096
営業外収益		
受取利息	314	44
受取配当金	0	-
為替差益	-	30,097
金利スワップ評価益	2,694	-
その他	4,456	1,859
営業外収益合計	7,465	32,001
営業外費用		
支払利息	8,786	5,296
為替差損	12,692	-
その他	444	724
営業外費用合計	21,923	6,020
経常利益	64,045	9,883
特別利益		
固定資産売却益	-	137
貸倒引当金戻入額	12,916	343
特別利益合計	12,916	481
特別損失		
固定資産除却損	38	-
特別損失合計	38	-
税金等調整前四半期純利益	76,923	10,364
法人税、住民税及び事業税	1,967	1,426
法人税等合計	1,967	1,426
四半期純利益	74,956	8,938

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	74,502	84,052
減価償却費	86,145	86,683
のれん償却額	4,613	-
減損損失	83,043	-
金利スワップ評価損益( は益)	8,769	-
貸倒引当金の増減額( は減少)	30,978	3,377
退職給付引当金の増減額( は減少)	324	1,139
遅延損害金	-	14,035
受取利息及び受取配当金	5,019	2,423
支払利息	31,243	14,799
為替差損益( は益)	3,047	8,715
売上債権の増減額( は増加)	11,323	95,541
たな卸資産の増減額( は増加)	22,691	163,334
敷金及び保証金の増減額( は増加)	62,087	103,894
仕入債務の増減額( は減少)	129,290	47,420
賞与引当金の増減額( は減少)	15,205	10,811
その他	39,769	32,704
小計	420,081	193,680
利息及び配当金の受取額	4,992	5,006
利息の支払額	18,025	12,168
遅延損害金の支払額	-	38,260
法人税等の支払額	7,739	6,890
営業活動によるキャッシュ・フロー	399,308	141,367
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	5,000	2,100
定期預金の払戻による収入	25,000	-
有形及び無形固定資産の取得による支出	69,100	65,079
有形及び無形固定資産の売却による収入	-	8,455
投資有価証券の取得による支出	1,953	11,578
貸付けによる支出	3,300	-
貸付金の回収による収入	720	4,175
その他	19	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	53,614	66,127
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	148,770	183,950
長期借入れによる収入	-	113,593
長期借入金の返済による支出	104,194	67,881
社債の発行による収入	140,000	-
社債の償還による支出	100,000	100,000
設備関係割賦債務の返済による支出	6,345	6,623
株式の発行による収入	100,000	150,000
自己株式の取得による支出	58	43
財務活動によるキャッシュ・フロー	119,368	94,905
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,047	9,046
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	223,278	10,618
現金及び現金同等物の期首残高	137,472	356,552
現金及び現金同等物の四半期末残高	360,750	345,933

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(単位：千円)

	時計バンド 事業	メガネ フレーム事業	その他事業	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,493,566	1,124,334	287,305	3,905,206		3,905,206
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高						
計	2,493,566	1,124,334	287,305	3,905,206		3,905,206
営業利益又は営業損失( )	287,070	147,026	5,132	134,912		134,912

(注) 1 事業区分は、製品の種類、販売市場の類似性を考慮し、下記の事業区分によっております。

## 2 各事業区分の主な製品

- (1) 時計バンド事業.....チタニウム製時計バンド、セラミックス製時計バンド及び時計バンド用部品  
(2) メガネフレーム事業.....チタニウム製フレーム、チタニウムと異素材のコンポジットフレーム及びサングラス  
(3) その他事業.....釣具用部品、電子ロック、電子機器用部品、イオンプレーティング・アルマイトによる表面処理加工

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位：千円)

	時計バンド 事業	メガネ フレーム事業	その他事業	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,729,995	1,087,912	271,557	3,089,465		3,089,465
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高						
計	1,729,995	1,087,912	271,557	3,089,465		3,089,465
営業利益又は営業損失( )	17,014	86,136	3,830	99,319		99,319

(注) 1 事業区分は、製品の種類、販売市場の類似性を考慮し、下記の事業区分によっております。

## 2 各事業区分の主な製品

- (1) 時計バンド事業.....ステンレス製時計バンド、チタニウム製時計バンド、セラミックス製時計バンド及び時計バンド用部品、イオンプレーティング・アルマイトによる表面処理加工  
(2) メガネフレーム事業.....チタニウム製フレーム、チタニウムと異素材のコンポジットフレーム及びサングラス、プラスチックフレーム及びサングラス  
(3) その他事業.....釣具用部品、電子ロック、静電気除去器、携帯電話機用部品

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(単位：千円)

	国内	アジア	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,648,727	1,256,478	3,905,206		3,905,206
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	84,903	1,131,762	1,216,665	(1,216,665)	
計	2,733,631	2,388,241	5,121,871	(1,216,665)	3,905,206
営業利益又は営業損失( )	96,582	236,799	140,216	5,304	134,912

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法.....地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域  
アジア.....中国・韓国・タイ

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位：千円)

	国内	アジア	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,786,494	1,302,971	3,089,465		3,089,465
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	146,395	503,524	649,920	(649,920)	
計	1,932,890	1,806,495	3,739,385	(649,920)	3,089,465
営業利益又は営業損失( )	130,662	30,913	99,749	429	99,319

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法.....地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域  
アジア.....中国・ベトナム

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(単位：千円)

	ヨーロッパ	アジア	計
海外売上高	1,339,384	1,252,011	2,591,396
連結売上高			3,905,206
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	34.3	32.1	66.4

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法.....地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

ヨーロッパ.....スイス・ドイツ・フランス・スペイン

アジア.....中国・韓国・タイ

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位：千円)

	ヨーロッパ	アジア	計
海外売上高	478,336	1,400,069	1,878,406
連結売上高			3,089,465
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	15.5	45.3	60.8

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法.....地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

ヨーロッパ.....スイス・ドイツ・スペイン

アジア.....中国・韓国・タイ

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成21年11月11日開催の取締役会における第三者割当増資の決議に基づき、新株を発行しました。この結果、資本金が75,000千円、資本準備金が75,000千円それぞれ増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,565,875千円、資本剰余金が1,548,980千円となっております。

## (7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

## 6. 生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
時計バンド事業	935,763	42.6
メガネフレーム事業	169,329	26.4
その他事業	198,483	12.8
合計	1,303,574	37.6

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2 金額は、販売価格によっております。  
3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
時計バンド事業	1,695,773	30.7	953,071	24.3
メガネフレーム事業	1,147,471	5.7	264,486	0.4
その他事業	287,083	+9.6	55,020	+52.5
合計	3,130,328	20.3	1,272,577	18.5

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
時計バンド事業	1,729,995	30.6
メガネフレーム事業	1,087,912	3.2
その他事業	271,557	5.5
合計	3,089,465	20.9

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
RADO WATCH CO., LTD.	1,099,702	28.2	329,163	10.7
カシオ計算機株式会社	228,826	5.9	212,371	6.9
CASIO COMPUTER(HK) LTD.	503,864	12.9	681,592	22.1
CASIO ELECTRONICS (SHENZHEN) CO., LTD.	183,427	4.7	177,242	5.7
CASIO(THAILAND) CO., LTD	335,634	8.6	237,814	7.7

- 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。